取扱説明書

744CCU2

MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT

’12 07/17

STUDIO EQUIPMENT

安全にお使いいただくためのご注意

安全にお使いいただくため、本製品の設置前、及びご使用前に、以下をよくお読みください。

ご使用中も、いつでも見られる場所に保管してください。

！警告

●電源電圧はAC100V(50/60Hz)専用です。これ以外の電圧の電源を接続しないでください。火災や感電の原因になります。
●電源コードのプラグは確実に差し込んでください。抜けかかった状態で端子が露出していると、火災や感電の原因になります。
●電源コードの上に物をのせないでください。電源コードの温度が高くなったり、コードに傷がつくと、火災や感電の原因になります。
●本製品に水がかかったり、内部に水が入らないようにご注意ください。火災や感電の原因になります。
●本体ケースは開けないでください。感電の原因になります。
●落雷の危険がある場合は本体、電源コードに触らないでください。感電の原因になります。なお、落雷が近いことが事前に確認できる場合は電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
●本製品使用中に、火花や煙が出るなど、異常を感じたら、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。

！注意

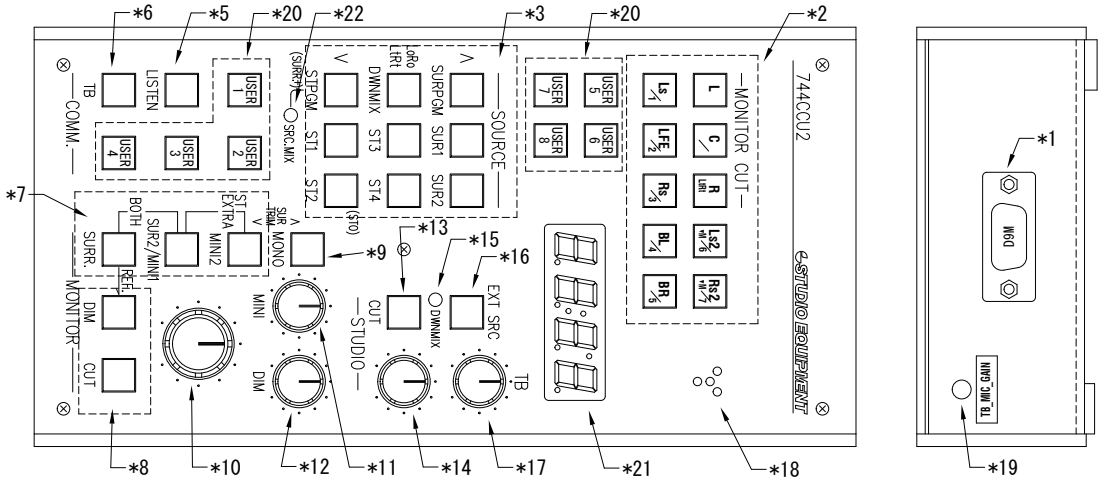
●しっかりした安定な場所に設置してください。落下等の衝撃が加わると、火災や感電の原因になります。
●ストーブ等、高温になる器具に本体及び電源コードを近づけないでください。火災や感電の原因になります。
●周囲温度が高い場所で使用しないようご注意ください。火災の原因になります。
●本製品はエアコン等により周囲温度の安定している屋内専用です。屋外で使用しないでください。
●放熱穴を塞がないでください。火災の原因になります。
●配線工事を伴う設置の場合、配線接続が正確に行われているか、専門業者により十分に確認してからご使用ください。間違った配線のまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●本製品の出力経路にヘッドホンアンプやパワーアンプが繋がっている場合、ヘッドホンアンプやパワーアンプのボリュームを最小にしてから本製品の電源スイッチを操作してください。急に大きな音が出ると聴力障害の原因になることがあります。
●時々、電源プラグを抜いて、電源コードに傷や電源プラグに変形等の異常が無いか点検してください。異常がある場合は、販売店にコードの交換を依頼してください。異常のある電源コードを使用すると、火災や感電の原因になります。
●本製品を長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。長期間、コンセントに電源プラグが挿し込まれたままになっていると、ほこりなどの付着によって、火災の原因になることがあります。

*本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。海外での使用は品質保証対象外となりますのでご注意ください。

** 安全にお使いいただくために、配線工事を伴う設置の場合、配線接続工事は専門の業者に依頼し、十分な動作確認を行った上でご使用ください。

各部の機能

744CCR2 リモートスイッチボックス



*1:本体接続コネクター。Dサブ9ピンオス。電源の投入は、接続ケーブルを本体、リモートスイッチボックスに接続した状態で行ってください。

*2:MONITOR CUT スイッチ。サラウンドモード時に各モニター出力チャンネルをそれぞれカットします。カット時赤色LED点灯表示。この他、DNMIX No.の設定と呼び出しに使用します。通常動作時、DNMIX No.を間欠点滅表示します。

*3: SOURCE スイッチ。サラウンド3系統、ステレオ5系統からそれぞれ選択します。サラウンドは緑色LED、ステレオは黄色LED表示。"SURR."スイッチを押しながらSTPGMスイッチを押すと、SRC MIX MODE と択一MODEが切り替わります。SRC MIX MODEは、選択されたサラウンド、ステレオソースがそれぞれミックスされます。ダウンミックスは、同時ミックスはされずに、他のステレオソースとの択一動作です。ダウンミックスは係数(ミックスバランス)を切り替えてモニターすることが出来、"DWNMIX"を押しながら、右下に番号があるMONITOR CUTスイッチを押すと、DNMIX No.が切り替わります。ユーザーはDNMIX No.1..7にそれぞれ別なダウンミックス係数バランスを設定することができます。ステレオ/サラウンドモニターモード切替は、選択したMONITOR SOURCE SWのモニターモードに自動的に切り替わります。サラウンドソースを選択した場合は、SLS/CUEソースがDWNMIXになります。

*5:LISTEN スイッチ。ラッチ動作。黄色LED。このスイッチを動作させると(*26"EXT REMOTE"の"Y-LIS_SW_IN/OUT"の動作はこのスイッチの動作とは違いがあります)"LISTEN1_MIC_IN"、"LISTEN2_IN"に接続された音声が"LISTEN_OUT"に出力されます("LISTEN_PRE_OUT"は操作と無関係に常時出力されています)。一旦"MONITOR DIM"がセットされます。このときの"MONITOR DIM"は、*8"DIM"を押すことで解除できます(DIM解除でハウリングが起きる可能性があります)。SLS/CUE出力にはDIM/MUTEを行いません。*26"EXT REMOTE"の"Y-LIS_SW_IN/OUT"は、スタジオリッスン機能ではなく、リターントークバック機能として使用されます。このため、動作中はSLS/CUEをDIMレベルにします。MONITOR出力にはDIM/CUTを行いません。"Y-LIS_SW_IN/OUT"動作中にリモートスイッチボックスの"LISTEN"LEDは点灯しません。リモートスイッチボックスの"LISTEN"と*26"EXT REMOTE"のY-LIS_SW_IN/OUT"を同時に動作させた場合は、リモートスイッチボックスの"LISTEN"動作が優先されます。

*6:TB スイッチ。モーメンタリー動作。黄色LED。このスイッチを動作させると、モニター出力、SLS、CUEにDIMがかかり、SLS/CUEにトークバック音声が出力されます。これと同時にトークバック音声が"TB_OUT"に出力されます("TB_PRE_OUT"は、*18TB_MIC出力を除き、操作と無関係に常時出力されています。*18TB_MIC出力は"TB"動作時のみ出力にミックスされます)。リモートスイッチボックスのTB スイッチを押したときは、(初期設定にかかわらず)トークバック音声はリモートスイッチボックスの*18TB_MIC、"EXT_TB_MIC_IN"、"EXT2_TB_IN"がミックスされた信号です。*28"EXT REMOTE"の"Y-TB_SW_IN"の動作はリモートスイッチボックスの"TB"と同じですが、 *18TB_MIC出力を含めるかどうか、初期設定で選択できます。(出荷時設定は"*18TB_MIC出力を含める")(初期設定については後の頁で説明) このため外部トークバックマイクを使用してトークバック動作中のマイクだけを生かしたい場合は、外部トークバックマイク音声を、該当する外部トークバックスイッチと連動してON/OFFするような機能を外部に設ける必要があります。この機能を持つマイク付き外部トークバックスイッチボックスとして、当社製品"708S1"または"708B1"が最適です。

*7(1):SURR. スイッチ。ステレオ/サラウンドモードを切り替えます。サラウンドモード時点灯、緑色LED。SOURCE スイッチの選択状態と、このスイッチの動作の組み合わせにより、任意のステレオとサラウンド信号のモニター切り替えが可能になります。サラウンドモード時、"SURR."を押しながら"DIM"を押すと、REFレベルモードになります。REFレベルモードでは、*10"MONITORボリューム"は無視され、SURRモニター出力レベルが、ユーザー再設定可能なプリセットレベル"85dB"ポジションに固定されます(SUR TRIM機能により0.5dBステップ±10dBのレベルトリム可能です)。他に、一部の動作モードの切り替え等を行う場合にシフトキーの役割をします。

*7(2):SUR2/MINI1 スイッチ。ステレオモードではMINI1(黄色LED)を選択し、サラウンドモードではSUR2(緑色LED)出力を選択します。SUR2出力は、サラウンドモニターサブセットとしても使用できますが、同一室内にサラウンドモニターセットが二つ設置されている状況は少ない例だと思います。これ以外には、例えばスタジオブース内に設置されたサラウンドモニターセットや、スタジオに隣接するプレビュー室など、遠隔室に出力する場合に使用するケースがあり得ます。
サラウンドモード時、"SURR."スイッチを押しながら"SUR2/MINI1"スイッチを押すと、SUR1出力、SUR2出力を両方同時に出力する"BOTH_MODE"になります。"BOTH_MODE"のときは赤色LED表示になります。"BOTH_MODE"は特に、SUR2セットが遠隔室にある場合にモニター出力音声を確認する目的で使用します。"BOTH_MODE"は、サラウンドモード時"SUR2/MINI1"を押すと解除されます。

*7(3):MINI2 スイッチ。ステレオモードではMINI2(黄色LED)を選択します。サラウンドモードではSUR TRIM機能、"SURR."押しながらでは*26"EXT REMOTE"のサラウンドモード時限定ユーザースイッチ(このときは緑色LED)として機能します。
ステレオモード時、"SUR2/MINI1"と"MINI2"スイッチを同時に押すと"MON"出力が、"ST_EXTRA"モニター出力に切り替わります。"ST_EXTRA"モニター出力は、"MON"出力の代替出力としてSUR1出力のL,Rを使用するものです。"ST_EXTRA"モニター出力は、ステレオモード時、"SUR2/MINI1"と"MINI2"スイッチを同時に押すと解除されます。この他、有効な使い方として、ST_EXTRAリバース初期設定によって、例えば、MINI1出力とST_EXTRA出力を入れ替えておけば、SUR1出力のL,RをMINI1出力と兼用することができます(ST_EXTRAリバース初期設定については、後の頁で説明)。

*8:DIM スイッチ。モニター出力にDIMをかけます。黄色LED。

*8:CUT スイッチ。モニター出力をカットします。赤色LED。

*9:MONO スイッチ。ステレオモード時モノモニター出力になります。SLS/CUEもモノになります。[L+R]-3dBのミックススケーリングです。"MONO"は黄色LED。サラウンドモード時もSLS/CUEはモノモニター継続。ステレオメーター出力は、モノになりません。サラウンドモードではSUR TRIM機能、"SURR."押しながらでは*26"EXT REMOTE"のサラウンドモード時限定ユーザースイッチ(このときは緑色LED)として機能します。

*10:MONITOR ボリューム。モニターボリュームレベルを調整します。分解能1dB/62ステップ(最小の数ステップ分は2dB刻み)。サラウンド含む各ボリュームレベルの入力に対する最大ゲインは+3dBです。(CUE出力はレベル固定。-3dB。バランスINアンバランスOUTであるためレベル飽和を避けるためゲインを抑えています)

*11:MINI ボリューム。MINI1、MINI2モニター時にMONITORボリュームレベルに0.5dBステップで-20～+12dBの範囲の相対レベルを加えます。MINI1、MINI2モニター時もMONITORボリュームによってボリュームレベルが調整されます。初期設定により相対レベルではないMINI1,MINI2専用MONITORボリュームに変更することもできます(Rev0.5より)(出荷時設定は相対レベル)(初期設定については後の頁で説明)。

*12:DIM ボリューム。モニターDIM動作時の、DIMレベルを0.5dBステップで-38～-6dBの範囲で調整します。反時計方向でDIMが増加(=レベルが小さく)なります。

*13:STUDIO CUT スイッチ。SLS出力をカットします。動作時赤色LED。
"STUDIO CUT"スイッチを押している間、SLS/CUE出力はDIMレベルになります。この状態のとき*12"DIM"ボリュームを動かすとSLS/CUEのDIMレベルを調整できます。調整されたSLS/CUEのDIMレベルは、数秒後にメモリに保存され、次回電源投入時にリジュームされます。メモリ保存時"EXT SRC"がインジケータとして一瞬点灯します。

*14:STUDIO ボリューム。SLS出力のボリュームレベルを調整します。数値表示は最大値を100とするdB表示。

*15:DWNMIX LED。SLS/CUE出力が、内部ダウンミックス回路からの音声であることを表示します。赤色LED。

*16:EXT SRC スイッチ。SLS/CUE出力を"SLS/CUE_EXT"入力に切り替えます。SLS出力には他に、独立した専用入力の"SLS INDEP IN"(*28"SURR._9,10_I/O")があり、通常時、EXT SRC時それぞれでこの入力を使用するかを選択できます。"SURR."を押しながら"EXT SRC"を押すとSLSのソースが通常か"SLS INDEP IN"かが切り替わります。現在の状態がEXT SRC、通常、でそれぞれについて"SLS INDEP IN"の切り替えが選択されます。選択の状態は"EXT SRC"の間欠点滅で表示されます。この設定状態は、不揮発メモリに保存され、電源再投入時レジューム動作となります。黄色LED。

*17:TB ボリューム。SLS/CUEへのTB出力レベルを調整します。数値表示は最大値を100とするdB表示。

*18:TB_MIC。リモートスイッチボックスのTBマイク。

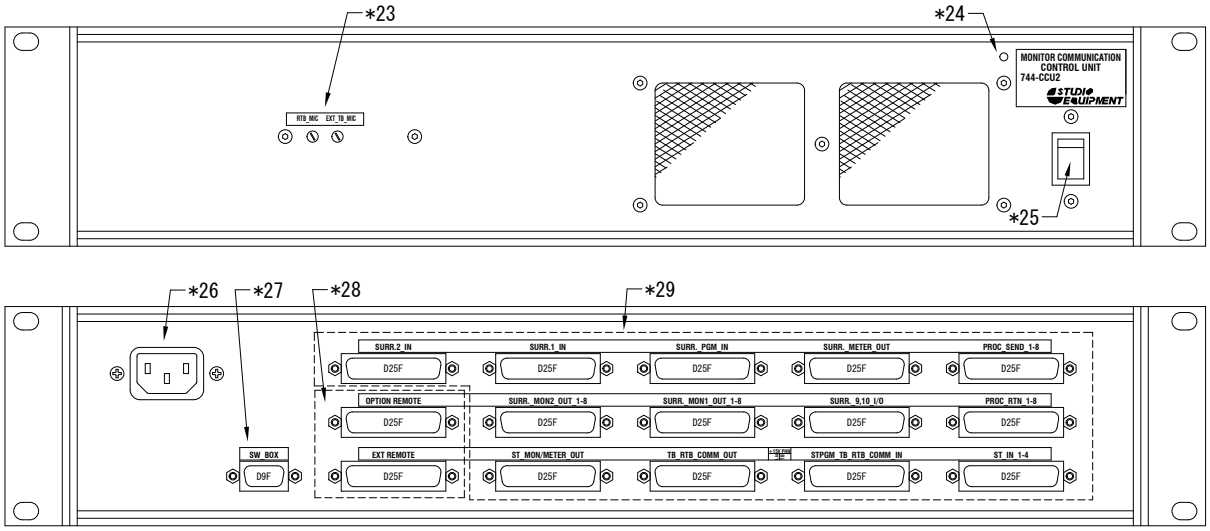
*19:TB_MIC レベル。リモートスイッチボックスのTB_MICのゲインを調整します。

*20:USER スイッチ。*26"EXT REMOTE""OPTION REMOTE"接点制御接続で動作します。図では便宜上"USER1"等表示記載していますが、実際は表示はありません(別途有償にて記名表示を追加することもできます。販売店にお問い合わせください)。初期設定でモーメンタリー/ラッチ出力の選択と、タリー入力LED色を緑/赤/黄のどれかに再設定できます(出荷時はUSER_SW1～8すべてモーメンタリー出力、LED色は黄色。初期設定については後の頁で説明)。 USER SW5..8は、別売オプション品 SUR SRC EXPANDER 使用時、内部使用となりUSER SWとしては使用できなくなります。

*21:数値インジケーター。動作に応じて各レベルを表示します。通常動作では右下ドットが0.5dBを表します。

*22:SRC MIX MODE LED 。SOURCE MIX MODEでは、サラウンド、ステレオ、それぞれで選択された音声がMIXされます。DWNMIX は他ステレオ選択との択一動作となります。赤色LED。

744CCU2 本体



*23:RTB/EXT_TB マイクレベル。"LISTEN"スイッチ、"TB"スイッチの動作で"LIS1_MIC_IN""EXT_TB_MIC_IN"の信号も、それぞれにミックスされて出力されますので、マイク入力端子オープンでのノイズ混入を避けるため、使用しない場合はそれぞれを絞りきっておいて下さい。 "LIS1_MIC_IN""EXT_TB_MIC_IN"各入力には+15Vファンタム電源が重畳されています。+15Vファンタム電源はコネクター横のDIPSWでOFFにすることができます。(出荷時:1:ON / 2:ON)
*24:電源インジケーターLED。赤色LED。本体内部電源は、+15V、-15V、+5Vの電圧をもっています。電源インジケーターは+15V、-15Vが共に正常な時点灯します。
*25:電源スイッチ。
*26:電源入力コネクター。AC100V電源入力。
*27:SW_BOXコネクター。744CCR2リモートスイッチボックス接続用。Dサブ9ピンメス。
*28:REMOTE コネクター。外部制御接続用。詳細はピン配列表を参照。
このコネクターには内部電源出力が出ていますので、*29音声入出力コネクターをつなぎ間違えないように特に注意してください。
つなぎ間違えた状態で電源が入っていると、本製品だけでなく、接続相手の機器についても、短時間でも故障に至る可能性があります。
*29:音声入出力コネクター。詳細はピン配列表を参照。

**メーターアウトについて

ステレオメーターアウトはサラウンドモード時もSOURCEスイッチで選択されているステレオソースが常時出力されています。サラウンドメーターアウトは、SOURCEスイッチで選択されているサラウンドソースが常時出力されています(PROC SENDも同一の信号が常時出力されています)。

PROCアウトについて

PROCアウトとサラウンドメーターアウトは出力バッファーアンプが共用されています。このためPROCアウト、サラウンドメーターアウトに繋がる機器は、レベル変動を招かないように、10kΩ以上のハイインピーダンス入力であることが推奨されます。

***DNMIX DIR OUTについて

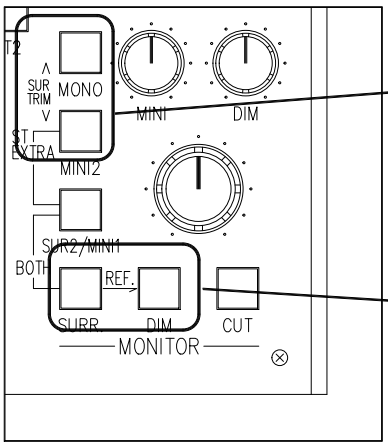
本体OPTION REMOTEコネクターにDWNMIX DIR OUTがあり、モニターモードと無関係に常時ダウンミックス信号が出力されています。

*サラウンドリファレンスレベル機能

サラウンドリファレンスレベルは、85dBレベルと呼ばれる、フィルムサウンド基準音圧レベルを設定するための機能です。
サラウンドモード時 "SURR." スイッチを押しながら"DIM" スイッチを押すと、サラウンドモニター出力が、現在のモニターボリューム位置と無関係に、あらかじめ設定されたサラウンドリファレンスレベル値にセットされます。サラウンドリファレンスレベルは、"DIM" スイッチの間欠点滅として表示されます。この機能は、サラウンドモードにのみあり、ステレオモードにはありません。サラウンドリファレンスレベルON時も、ステレオモードでは"DIM" スイッチの間欠点滅は表示されず、現在のモニターボリューム位置のレベルで出力されます。サラウンドリファレンスレベルはモニターボリューム位置を設定値に置き換え、モニターボリューム数値表示の"85"の位置をリファレンスレベル位置にずらします(同じボリューム位置の表示値が変わる)。その他の機能には影響を与えません。

SUR TRIM機能。サラウンドリファレンスレベル時、"MONO" "MINI2"スイッチ操作で0.5dB単位でモニターレベルを増減することができます。この機能は、通常のサラウンドモニター状態でも有効です。TRIM後の最大値はモニターボリューム最大値で制限されます。モニターボリューム最大で+側へTRIMすることはできません。SUR TRIM状態で、ステレオモードに切り替え、サラウンドモードに戻った場合、通常モニターではSUR TRIMはリセットされます。サラウンドリファレンスレベルでは直前SUR TRIMが継続します。ステレオモードではSUR TRIMは無効です。

出荷時のサラウンドリファレンスレベル値は、最大ボリューム位置より-20dB絞った位置(つまみの表示位置を時計の短針とすると、1時程度の位置になります)です。サラウンドリファレンスレベル値は再設定可能です。



SUR TRIM

サラウンドモード時、0.5dBステップでレベルトリムを行います。本来はリファレンスレベルのトリムオフセットのための機能ですが、モニターボリュームの設定分解能が1dBステップですので0.5dBの増減を行いたい場合にも使用できます。

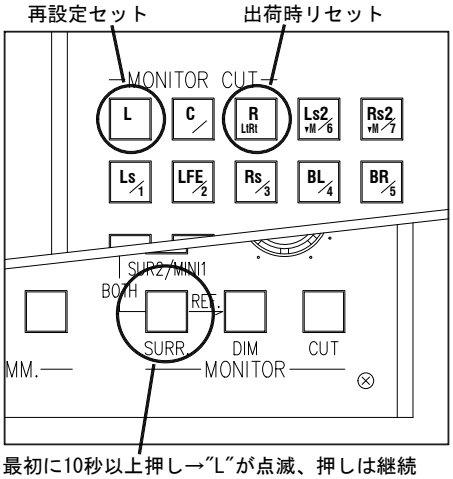
*サラウンドモード時限定 USER SW 動作("MONO" "MINI2")は、"SURR."を押しながら"MONO" "MINI2"を押すことで動作します。

サラウンドリファレンスレベル ON/OFF

"SURR." を押しながら
"DIM" を押す
↓
サラウンドリファレンスレベルON
"DIM" の間欠点滅として表示
数値インジケーター左桁に"r."の表示
(OFFも同様の操作)

サラウンドリファレンスレベルの再設定

ピンクノイズジェネレーター、スペクトラムアナライザー騒音計等の測定器を別途使用して、リファレンスレベルを決めます。通常は、出荷時のサラウンドリファレンスレベルに合わせて、パワーアンプ等モニター出力側の機器のレベル調整により設定します。このときの85dB基準レベルからのモニターゲイン余裕は20dBとなります。この方法ではサラウンドリファレンスレベルの再設定は必要ありません。
744CCU2で設定する場合は、本体内部に保存されているサラウンドリファレンスレベルの再設定を行います。最初に、モニターボリュームの85dB位置を出荷時状態に戻す操作をします。"SURR." スイッチを10秒以上押したままにすると、MONITOR CUT "L"が点滅状態になります。この状態で"SURR." スイッチは押したままMONITOR CUT "R"を押します。約1秒数値インジケーターに"85"が点滅表示され完了します。次に、サラウンドリファレンスOFFでモニターボリュームとSUR TRIM機能で、レベルを設定します。このとき、ゲインとヘッドルームの整合のために、表示値が80～90dB(!必ずリファレンスレベルを出荷時状態に戻してください。再設定を繰り返すと表示値がずれているため、混乱します。)の間に収まるように設定することを推奨します。大きすぎる場合、最大無歪出力の余裕が減少("99"以上ではリファレンスレベルにおいても+24dBu入力では出力に歪みが生じます)し、小さすぎる場合、モニターゲインの余裕が大きすぎ、モニターシステム全体としてのS/Nを悪化させます。モニターボリューム位置が決まったら、"SURR." スイッチを10秒以上押したままにすると、MONITOR CUT "L"が点滅状態になります。次にSURR. スイッチは押したままの状態でMONITOR CUT "L"を押すと、本体内部に保存されているサラウンドリファレンスレベル値が上書きされます。



サラウンドリファレンスレベル出荷時へリセット

"SURR." 押し10秒以上
↓
MONITOR CUT "L"が点滅
↓
"SURR." 押し継続のままMONITOR CUT "R" を押す。
↓
数値表示 85 が約1秒点滅

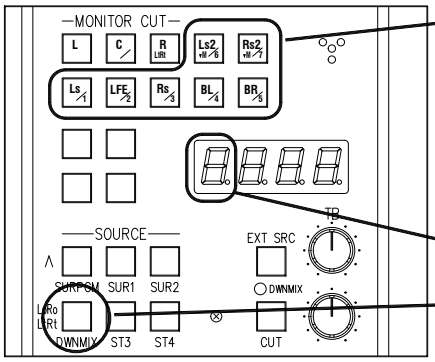
サラウンドリファレンスレベル再設定(現在のモニターレベル値をセット)

"SURR." 押し10秒以上
↓
MONITOR CUT "L"が点滅
↓
"SURR." 押し継続のままMONITOR CUT "L" を押す。
↓
数値表示 保存値 が約1秒点滅

*ダウンミックス

DNMIX No. 選択

DNMIX No.1..7の切替えで、7パターンのダウンミックス係数を選択できます(起動時はNo.1です)。各No.内のダウンミックス係数はユーザーが変更することができます。DNMIX No.の呼び出しは、"DWNMIX"を押しながら、MONITOR CUTの右下に数字が書いてあるスイッチを押すことで変更されます。選択された番号のスイッチが、間欠点滅して表示します。また、SOURCEとして"DWNMIX"選択中は、数値インジケーターの最上位桁にDNMIX No.が表示されます。



"DWNMIX"を押しながら、DNMIX No.(右下の数字)を押すとDNMIX No.が選択されます(*起動時はNo.1です)。選択されたDNMIX No.は、各スイッチの間欠点滅として表示されます。

"DWNMIX"選択中にL,R,Ls2,Rs2を除くMONITOR CUTスイッチを押している間、現在選択中のDNMIX No.の押したスイッチに該当する係数(減衰量)が数値インジケーターに表示されます。このとき、"R"はLtRt、Ls2はBL=CENTRE、"Rs2"はBR=CENTREをそれぞれ表示します。

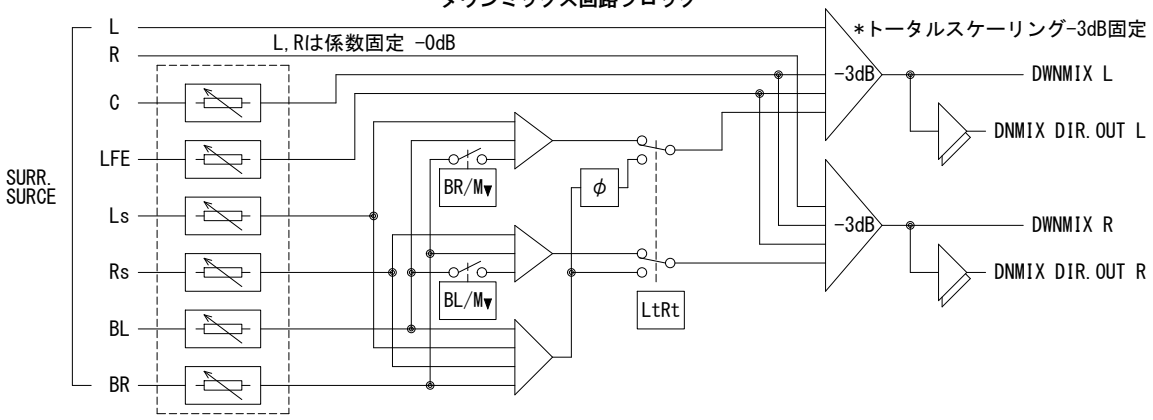
"DWNMIX"選択中は、DNMIX No.が表示されます。

LoRoは黄色、LtRtは赤色点灯で表示します。

ダウンミックス係数について

*ダウンミックス後、全体-3dBのトータルスケーリング値は固定です。サラウンドL,Rに1kHz/0VU信号を入れたときのダウンミックス出力のメーター値は-3VUとなります。ステレオソースL,Rとはレベル差がありますので注意してください。
*L,Rは係数固定-0dBです(この後に-3dBのトータルスケーリングが加わります)。
*LtRtのリヤ側定位のサラウンド信号(S-ch)のエンコード手法はいくつかありますが、本製品は最も基本的な位相反転のみのエンコードを使用しています。
本製品のLtRtではBL,BRはリヤ側定位のサラウンド信号(S-ch)の一部として取り扱われます。
*LFE,BL,BRは現在規格では未使用または未定義ですが、本製品ではミックス可能です。BL,BRは"BL_MONO" "BR_MONO"でダウンミックス時センター定位とすることができます(この場合係数を-3dB以下に手動で補正してください)。
*本製品ではセンター定位のチャンネルも-0dBの設定が可能ですが、センター定位の信号は-3dB以下とするのが通常ですので、設定時に注意してください。

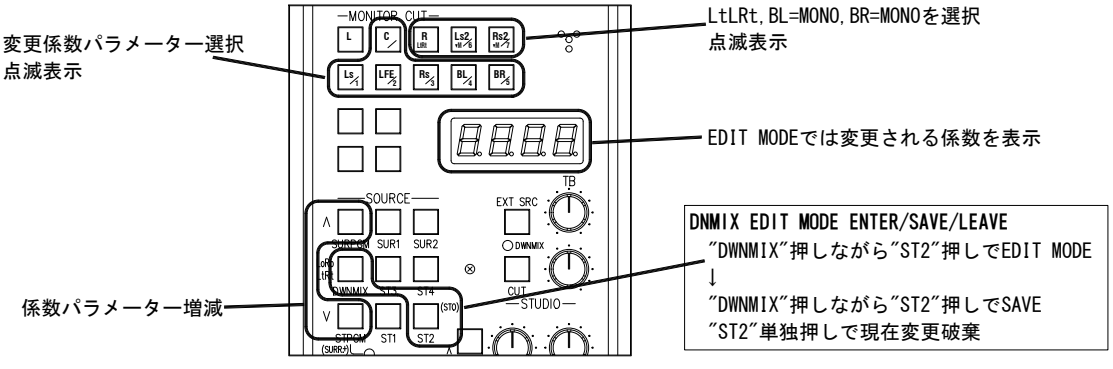
ダウンミックス回路ブロック



*係数設定 -0..-16dBまで 0.5dBステップ、-16..-20dBまで1dBステップ、最大減衰-20dB

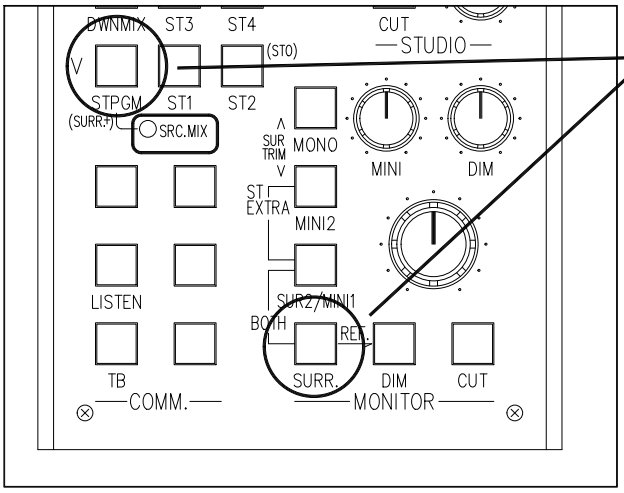
ダウンミックス係数の変更操作

*ステレオモードで、変更したいDNMIX No.を選択し、"DWNMIX"を押しながら"ST2(STO.)"を押すと、DNMIX EDIT MODEに入ります。MONITOR CUTの"C" "LFE" "Ls1" "Rs1" "BL" "BR"で変更するパラメーターを選択します。数値インジケーターに変更される係数が点滅表示されます。"∧ SURPGM" "∨ STPGM"で係数」値の増減を行います。"R LtRt"はLtRtを選択します。"Ls2 M▼"はBL=MONO、 "Rs2 M▼"はBR=MONOを選択します。LtRt選択中はBL=MONO,BR=MONOは選択できません。変更を終了したら、保存する場合は、"DWNMIX"を押しながら"ST2(STO.)"、保存せずに通常動作に戻る場合は、単独で"ST2(STO.)"を押します。



SRC MIX MODE 切り替え

サラウンドソース、ステレオソースは、通常択一のILモードと、サラウンド側とステレオ側それぞれがミックスできるソースミックスモードを選択できます。"SURR." を押しながら "STPGM"を押すと、"SRC.MIX"インジケーターが点灯し、SRC MIX MODE に切り替わります。ILモードに戻る場合も、同じ操作です。ILモードに戻る時は、選択が"SURPGM" "STPGM"にリセットされます。SRC MIX MODEで、ステレオソース "DWNMIX"のみ、他のステレオソース選択との択一動作となります。*起動時はILモードです。



SRC MIX MODE

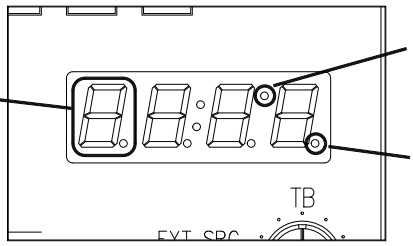
"SURR." スイッチ押しながら "STPGM"押し
↓
"SRC.MIX"が点灯

ILモードに戻る場合も、同様の操作。

数値インジケーター表示

*下3桁がdBレベルを表示します。通常動作では、1位の右下ドットが、0.5dBを表示します。10位と1位の間の上側ドットは、DIM状態であることを表示します。DIM状態ではDIMを含めたレベルの数値が表示されます。各ボリュームを操作すると、操作している間、数値インジケーターに値を表示します。
*MONITOR,SLS,TBボリュームの分解能は1dBステップ62ポジション、MINI,DIMボリュームは0.5dBステップ62ポジションに設定されています。SLS,TBのボリューム操作では、0.5dBドット表示は現れません。
*MINI,DIMは適用値がdB表示されます。SLS,TBは最大値を"100"とする相対dB値を表示します。
*サラウンドモードでリファレンスレベルでは、最上位に"r."が表示されます。SUR TRIMの状態ではレベルトリムされた数値が表示されます。リファレンス"85"でSUR TRIMが-3.5dBの場合"81."と表示されます。
*通常レベル表示値とサラウンドリファレンスレベルには密接な関係があります。サラウンドリファレンスレベルは常に"85"と表示されますが、実際のこのゲインになるボリューム位置を"85"の表示になるよう表示値を自動調整します。サラウンドリファレンスレベルを変更すると、時計の針の位置を変えずに文字盤を回転させてしまうようなイメージで、同じボリューム位置に対する表示値が変化します。
*DNMIX EDIT MODE時は、1位が左に1桁移動し、"-0.0"表示となります。

サラウンドモードでサラウンドリファレンスレベル状態では、"r."を表示します。
通常動作では、ボリュームを操作している間、操作しているボリューム位置をLEDセグメントに見立てて点滅表示します。
"DWNMIX"選択中と、DNMIX EDIT MODEでは、DNMIX No.を表示します。



MONITOR DIM状態を表示します。

0.5dBを表示します。

初期設定

初期設定を変更することで、以下の機能をカスタマイズすることができます。
*リモートスイッチボックス"USER"スイッチのLED点灯色の選択、モーメンタリー/ラッチ出力の選択。
*SUR SRC EXPの設定(外部オプション用設定。通常未使用)
*リモートスイッチボックス"MONO""MINI2"スイッチのサラウンドモード時のモーメンタリー/ラッチ出力の選択。
*ST_EXTRAリバースモードの設定。
*"EXT_TB_SW_IN"動作時、リモートスイッチボックスのTB_MIC音声をONにするかどうかの選択。
*MINIボリュームの動作をMONITORボリュームの レベルトリミング動作にするか、MONITORボリューム位置と無関係なMINI MONITORボリューム単独動作にするかの選択。

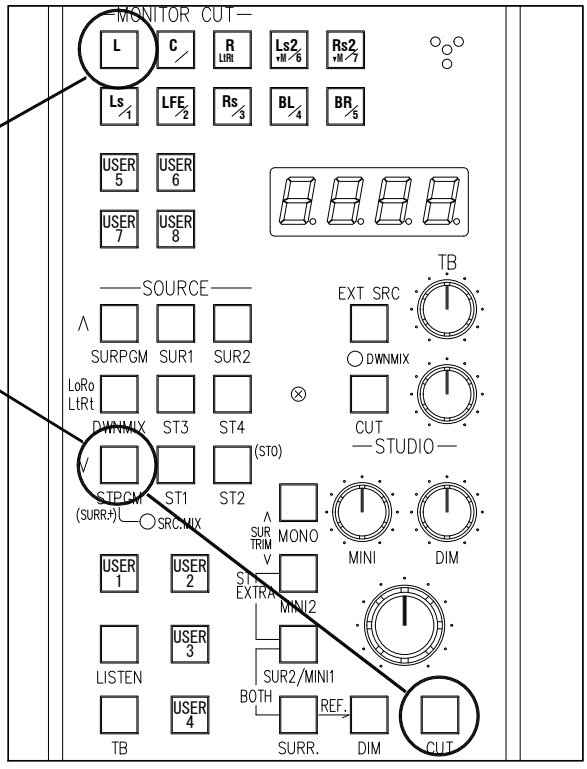
初期設定の設定方法。
電源投入時の不用意なノイズの発生を避けるため、先に、パワーアンプ等、モニター系統の機器の電源が入っている場合は切っておいてください。
電源投入時より先に、リモートスイッチボックスSOURCE"STPGM"とMONITOR"CUT"を、同時押しした状態で電源を入れます。このまま同時押しを継続します。通常動作と同じく約3秒間初期設定状態が表示されたあと、設定変更状態になります。設定変更状態ではMONITOR CUTの"L"が点滅状態になります。この状態になってからスイッチ押指を放してください。
・"USER"スイッチの設定。USER1..4 USER5..8が同様です。
LED点灯状態でラッチ出力、点滅状態でモーメンタリー出力です。変更する"USER"スイッチを押す毎にLED色と、点灯、点滅が切り替わります。
・"MONO""MINI2"スイッチの設定。
LED点灯状態でラッチ出力、点滅状態でモーメンタリー出力です。変更するスイッチを押す毎に、点灯、点滅が切り替わります。
・SUR SRC EXP設定。
"SURPGM" "SUR1" "SUR"2"を押すと各点灯します。点灯状態ではUSER5..8の設定は無視され外部オプション用に内部使用で占有されます。通常は点灯状態に設定しないでください。
・ST_EXTRAリバースモードの設定。
"STPGM"、"ST1"、"ST2"がそれぞれ、"MON"、"MINI1"、"MINI2"に対応しています。リバースモードを選択するスイッチを押すと点灯し、リバースモードの入れ替え相手になります。リバースモードを解除する場合は、点灯しているスイッチを押すと消灯し、リバースモード解除になります。
・"EXT_TB_SW_IN" TB_MIC音声ONの設定。
"TB"スイッチを押す毎に点灯、点滅が切り替わります。"TB"スイッチが点灯している場合"EXT_TB_SW_IN" 動作中TB_MIC音声を含める。"TB"スイッチが点滅している場合"EXT_TB_SW_IN" 動作中TB_MIC音声を含めない。(*どちらの場合もリモートスイッチボックスの"TB"スイッチを押したときはEXT_TB音声、EXT_TB_MIC音声ともONになります)。
・MINIボリューム動作の設定。
"MINI1"スイッチを押す毎に黄色LEDの点灯、点滅が切り替わります。"MINI1"スイッチが点灯している場合MINIボリュームはMONITORボリュームと無関係に直接MINI1,MINI2ボリュームとして動作します。"MINI1"スイッチが点滅している場合MINI1,MINI2が選択されているとき、MONITORボリュームのレベルトリミングボリュームとして動作します。

希望の設定を選択し終えたら、初期設定値をメモリーに保存します。
点滅中のMONITOR CUT "L"を押すと、初期設定値が変更保存され、再度初期設定値が約3秒間表示されたあと、通常動作に移行します。変更を破棄したい場合は、MONITOR CUT "L"を押さずに、そのまま電源を切ります。再度通常動作で電源を入れる場合は、5秒程度所間を空けてから、今度はボタンを押さずに電源を入れます。

*各変更内容については本文記載を参照してください。

変更した初期設定の保存
点滅している"L" 押しで設定保存し、通常動作で再起動。

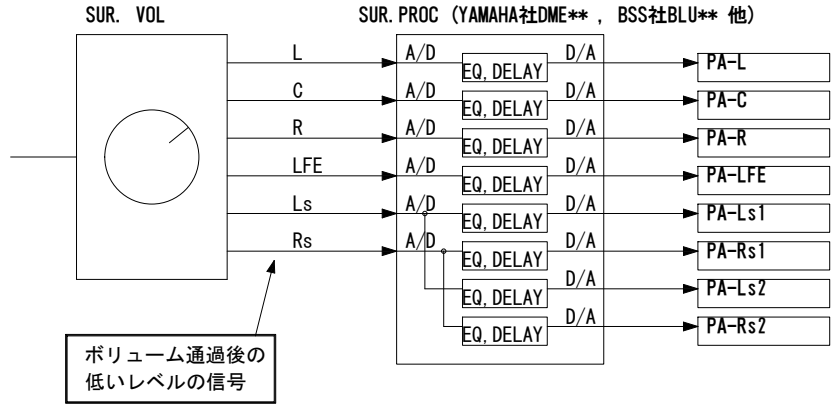
初期設定モードに入る操作
電源投入時、"CUT" と "STPGM"を同時押しした状態で電源を入れ、同時押しを継続。約3秒後にMONITOR CUT "L"が点滅開始し、初期設定モードに入ります。同時押しを放して、設定を行います。



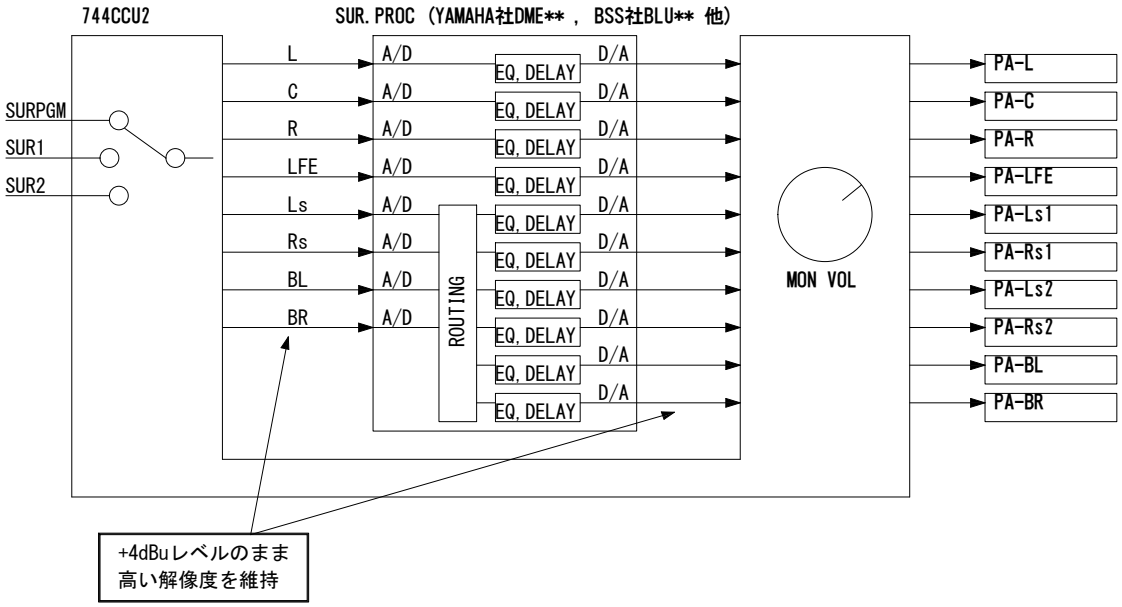
PROC SEND/RTN サラウンドモニタープロセッサインサート機能

サラウンドモニタースピーカー設備は多くの場合、音響補正用DSP音声プロセス機器が使用されます。前方にはスクリーンまたはビデオモニター等もあり、室の前後左右が完全に対照形でない以上、各スピーカーにかけられる補正はそれぞれ別なパラメーターになります。また、ダイレクトサラウンドモニターのみの場合を除いて、リヤ側スピーカーをディフューズモニターとする場合、2系統または3系統に同じ音声を送ります。このため通常、音響補正用プロセッサは各パワーアンプの直前に挿入されます。本製品では、PROC INS機能を使用する設備配線とすることで、音響補正用プロセッサをモニターボリュームの前に挿入することができます。これにより、ボリューム通過後の低い信号レベルをAD/DAしてレゾリューションを低下させてしまうのを避けることができます。
加えて、ルーティング機能を持つ音響補正用プロセッサを使用した場合、サラウンドスピーカー s1,s2,s3(BL/BR)のディフューズ/ダイレクト、5.1/6.1プログラムのルーティングを、音響補正用プロセッサに設定し、744CCU2のEXT REMOTE USER SW端子を使用して呼び出しを行えば、切り替え可能なモニターフォーマットの幅が広がります。

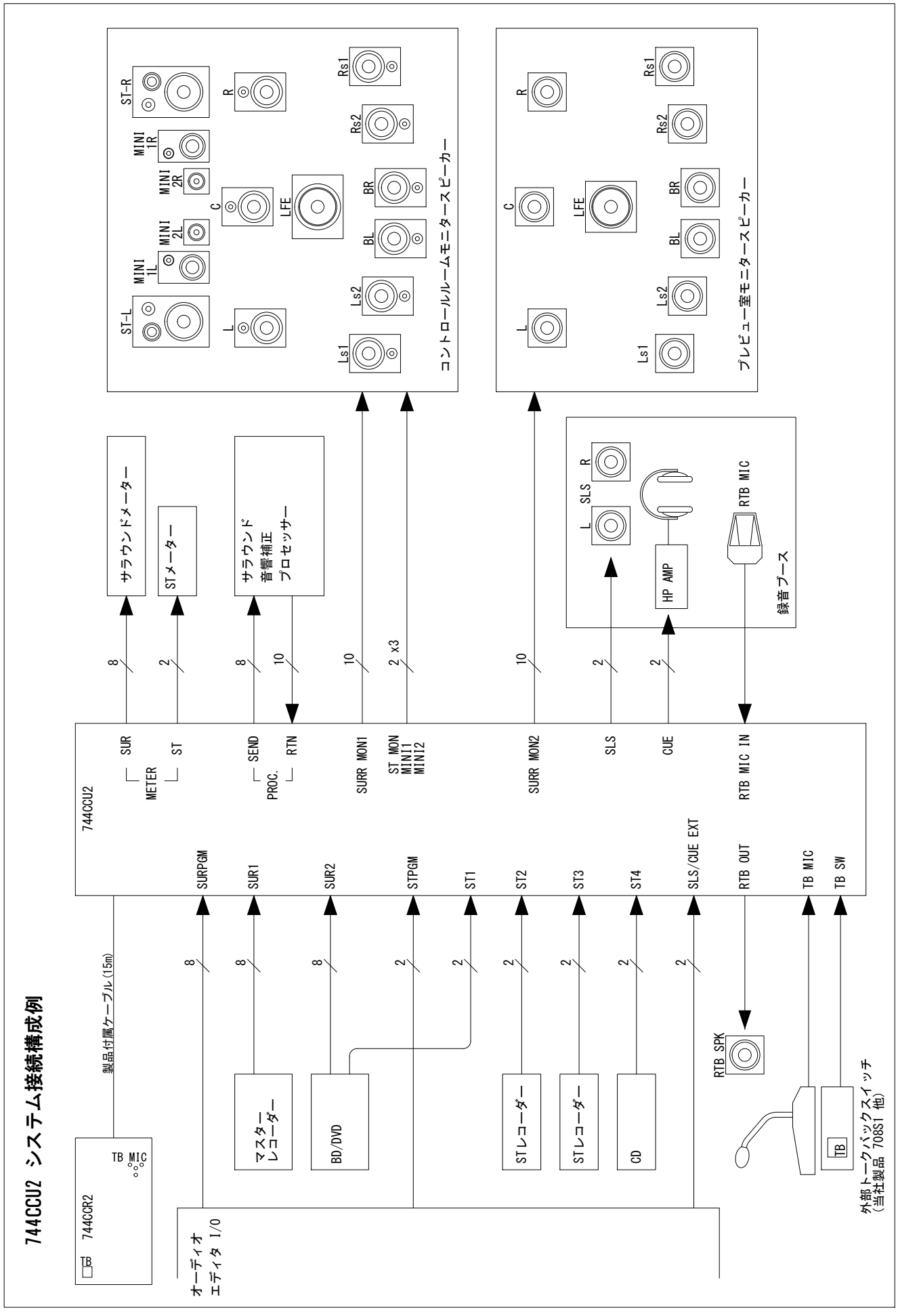
一般的な接続



744CCU2の PROC INS を使用した接続



744CCU2 システム接続構成例



仕様書

型番	744CCU2
製品名	MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT

製品概要

STEREO/SURROUND/COMMUNICATION機能を統合したモニターボリュームコントロールユニット。
アナログ音声制御本体 744-CCU2 とリモートスイッチボックス 744-CCR2 各1台を一組として構成する。

SPEC.

入出力コネクター	D25F(inch) x13 AUD IN/OUT : D25F(inch) x2 REMOTE
音声入力数 :	MON_IN 2(STEREO)x5系統: +4dBu または 0dBu 基準
基準レベル	SUR._IN 8(SURR.)x3系統: +4dBu または 0dBu 基準
	EXT_TB_MIC_IN:1 -50～-40dBu
	LISTEN1_MIC_IN:1 -50～-40dBu
	EXT_TB2_IN:1 +4dBu または 0dBu基準
	LISTEN2_IN:1 +4dBu または 0dBu基準
音声入力回路	MON/SURR._IN: 入力インピーダンス20kΩ 電子バランス型
	TB/LISTEN1_MIC_IN: 入力インピーダンス 2kΩ 電子バランス型(+15VPHANTOM)
	TB2/LISTEN2_IN: 入力インピーダンス 20kΩ 電子バランス型
音声出力数 :	MON/CUE/SLS OUT:2(STERO)x3系統 0dBu 基準 最大出力レベル >+21dBm
基準レベル	SUR.OUT:10(SURR.)x2系統 0dBu 基準 最大出力レベル >+21dBm
	METER OUT:(STEREO)2 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+24dBm
	METER OUT:(SURR.)8 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+24dBm
	DOWN MIX OUT:(STEREO)2 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+24dBm
	TB_OUT:2 0dBu 基準 最大出力レベル >+20dBm
	RTB OUT:2 0dBu 基準 最大出力レベル >+20dBm
音声出力回路	MON/CUE/SLS/TB/LISTEN_OUT: 出力インピーダンス30Ω アンバランス型
	METER OUT: 出力インピーダンス100Ω 電子バランス型
音声入出力特性	周波数特性: 20～20kHz/±0.5dB , チャンネル間相互レベル偏差: <±0.5dB@0dBゲイン
	THD+N:<0.01% @+4dBu,0dBGAIN,20～20kHz
	TB,RTB: 伝達周波数特性: 100～10kHz/±0.5dB マイクアンプ:40～60dBオートゲイン
	ボリュームレベル偏差: (ボリューム最大位置より)-0～20dB/<±0.3dB , -20～40dB/<±0.5dB -40dB以下/<1.5dB , チャンネル間ボリュームレベル偏差: -0～-40dB/0.5dB
	ダウンミックスレベル偏差: ±0.5dB@ATT0dB ダウンミックスアッテネーター偏差:-0～-20dB/0.5dB

定格

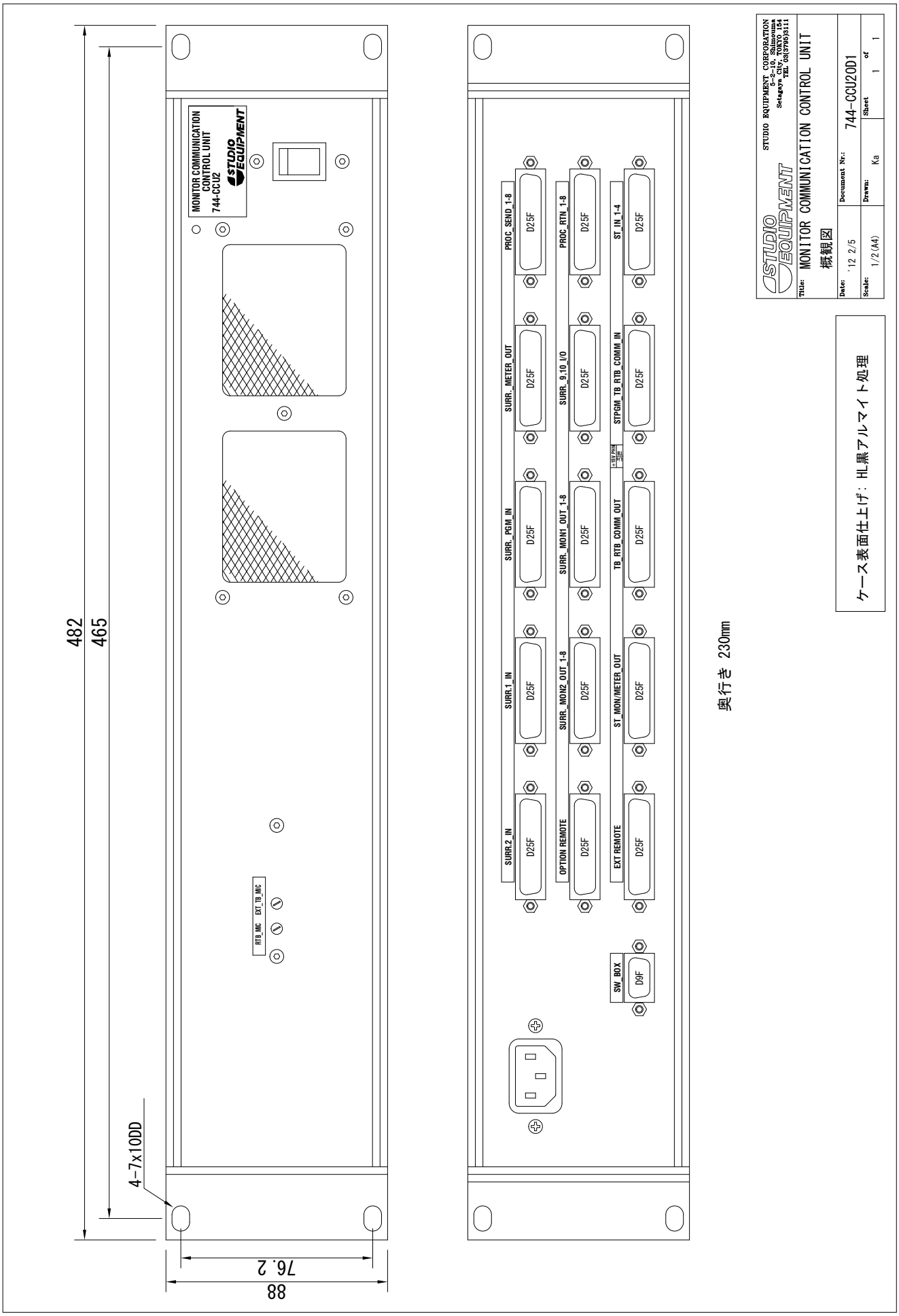
電源電圧	AC100V
電源周波数	50/60Hz
消費電力	35W
動作温湿度範囲	5～35℃、35～85%(結露無きこと)
外形寸法	W482mm H=88mm D=230mm (本体のみ、突起部除く)
重量	3.9kg (744CCU2 本体) / 0.5kg (744CCR2 リモートスイッチボックス)
付属品	744CCR2 x1、接続ケーブル 15m x1、 SURR.INSジャンパケーブル(本体取付済) x1
	取扱説明書 x1、電源コード1.8m x1

付属図

概観図	744-CCU20D1 / 744-CCR20D1
ブロック図	744-CCU2BD
コネクターピン配表	744-CCU2IOPD1

	（株）スタジオイクイプメント			
	承認2	承認1	作成者	作成年月日
				2012 07/17

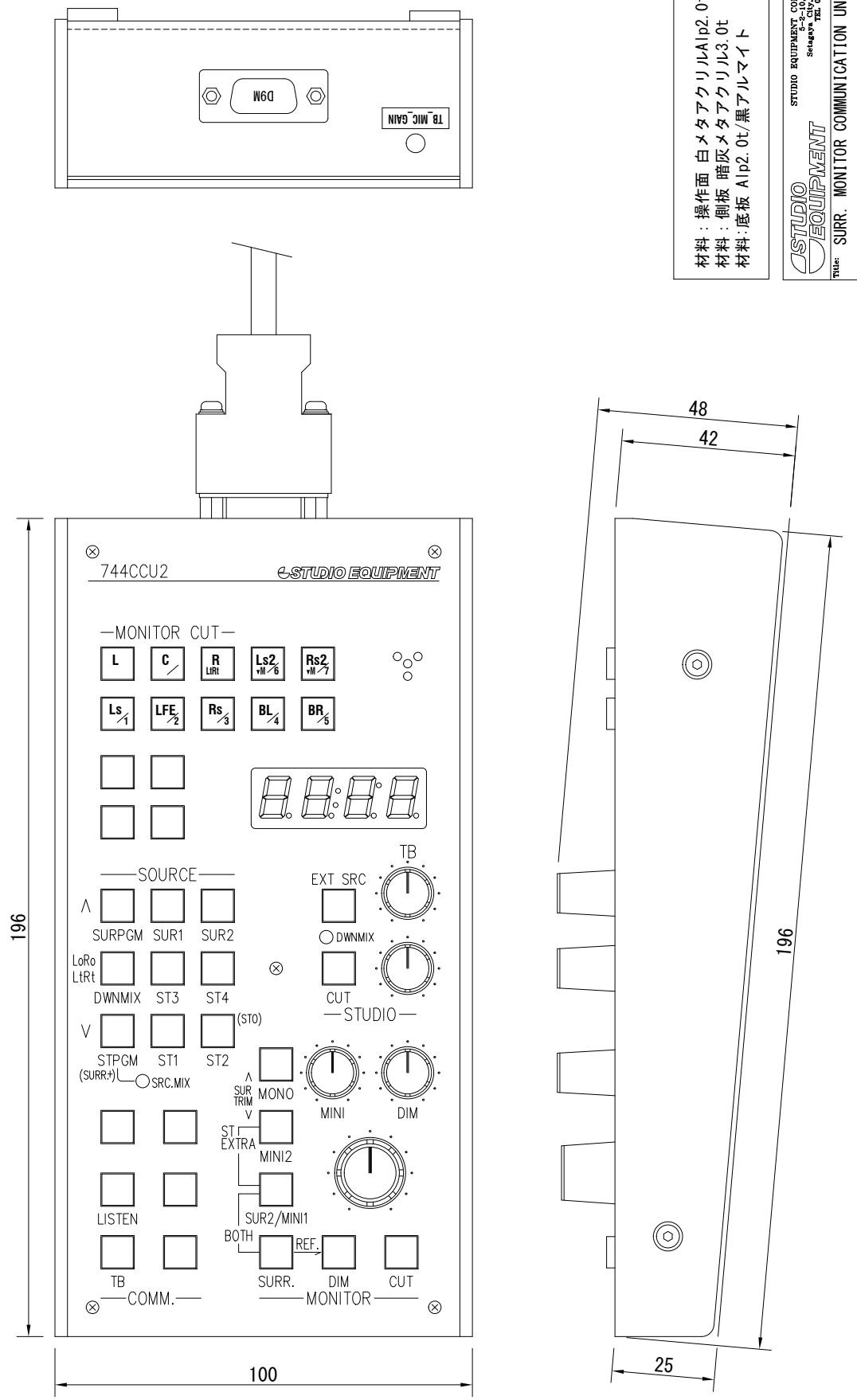
概観図　744-CCU2



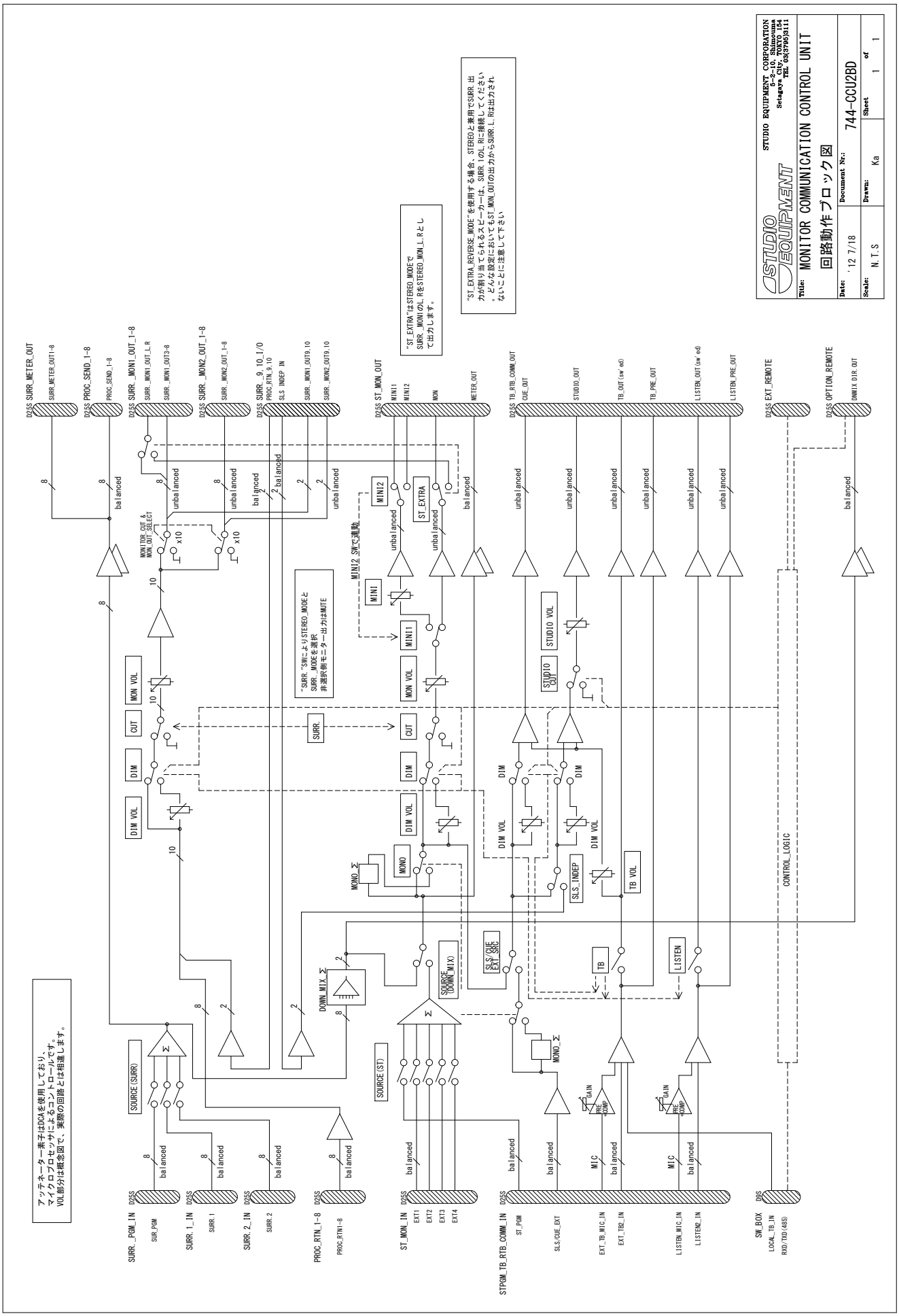
STUDIO EQUIPMENT CORPORATION
5-2-10, Shinouma
Setagaya-ku, TOKYO 154-0002
TEL 03(3795)5111

Title:	MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT 概観図		
Date:	'12 2/5	Document Nr.:	744-CCU20D1
Scale:	1/2(A4)	Drawn:	Ka
		Sheet	1 of 1

概観図　744-CCU2


材料：操作面 白メタアクリルAlp2.0t
材料：側板 暗灰メタアクリル3.0t
材料：底板 Alp2.0t/黒アルマイト
STUDIO EQUIPMENT CORPORATION
2-2-10, Shinozuka
Hino-City, TOKYO, JAPAN
Setagaya-City, TOKYO, JAPAN
TEL 03(3795)3111
Title: SURR. MONITOR COMMUNICATION UNIT -2
REMOTE SW BOX 概観図
Date: '12 1/10
Document Nr.: 744-CCR20D1
Scale: 1/1.41 (A4)
Drawn: Ka
Sheet 1 of 1
TB_MIC_GAIN
D9M
744CCU2
STUDIO EQUIPMENT
—MONITOR CUT—
L
C
R
LtRt
Ls2
Rs2
Ls
LFE
Rs
BL
BR
—SOURCE—
SURPGM
SUR1
SUR2
DWNMIX
ST3
ST4
STPGM
ST1
ST2
(STO)
(SURR:+)
SRC.MIX
LoRo
LtRt
EXT SRC
DWNMIX
CUT
TB
—STUDIO—
SUR TRIM
MONO
MINI
DIM
ST EXTRA
MINI2
SUR2/MINI1
REF.
LISTEN
BOTH
TB
SURR.
DIM
CUT
—COMM.—
—MONITOR—
196
100
48
42
196
25

ブロック図　744-CCU2



"ST_MON_IN"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	IN ST4R+	
14	IN ST4R-	
2	IN ST4R GND	
15	IN ST4L+	
3	IN ST4L-	
16	IN ST4L GND	
4	IN ST3R+	
17	IN ST3R-	
5	IN ST3R GND	
18	IN ST3L+	
6	IN ST3L-	
19	IN ST3L GND	
7	IN ST2R+	
20	IN ST2R-	
8	IN ST2R GND	
21	IN ST2L+	
9	IN ST2L-	
22	IN ST2L GND	
10	IN ST1R+	
23	IN ST1R-	
11	IN ST1R GND	
24	IN ST1L+	
12	IN ST1L-	
25	IN ST1L+ GND	
13		

"TB_RTB_COMM_IN"

D25M with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	IN ST_PGM R+	
14	IN ST_PGM R-	
2	IN ST_PGM R GND	
15	IN ST_PGM L+	
3	IN ST_PGM L-	
16	IN ST_PGM L+ GND	
4	SLS/CUE EXT IN R+	
17	SLS/CUE EXT IN R-	
5	SLS/CUE EXT IN R GND	
18	SLS/CUE EXT IN L+	
6	SLS/CUE EXT IN L-	
19	SLS/CUE EXT IN L GND	
7	EXT TB2 IN+	
20	EXT TB2 IN-	ラインレベル入力
8	TB IN GND	
21	EXT TB MIC IN+	
9	EXT TB MIC IN-	マイクレベル入力
22	TB IN GND	
10	LISTEN2 IN+	
23	LISTEN2 IN-	ラインレベル入力
11	LISTEN2 IN GND	
24	LISTEN1 MIC IN+	
12	LISTEN1 MIC IN-	マイクレベル入力
25	LISTEN1 MIC IN GND	
13		

"TB_RTB_COMM_OUT"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	STUDIO SPK OUT R+	すべて アンバランス出力
14	STUDIO SPK OUT R GND	
2	STUDIO SPK OUT R GND	
15	STUDIO SPK OUT L+	
3	STUDIO SPK OUT L GND	
16	STUDIO SPK OUT L GND	
4	CUE OUT R+	
17	CUE OUT R GND	
5	CUE OUT R GND	
18	CUE OUT L+	
6	CUE OUT L GND	
19	CUE OUT L GND	
7	TB PRE OUT+	
20	TB PRE OUT GND	
8	TB PRE OUT GND	
21	TB OUT+(sw'ed)	
9	TB OUT GND	
22	TB OUT GND	
10	LISTEN PRE OUT+	
23	LISTEN PRE OUT GND	
11	LISTEN PRE OUT GND	
24	LISTEN OUT+(sw'ed)	
12	LISTEN OUT GND	
25	LISTEN OUT GND	
13		

"MON_OUT"

D25M with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	OUT METER-R+	バランス出力(+24dBu(=0dBfs@-20dBref)出力のため)
14	OUT METER-R-	
2	OUT METER-R GND	
15	OUT METER-L+	
3	OUT METER-L-	
16	OUT METER-L GND	
4	OUT MINI2-R+	アンバランス出力
17	OUT MINI2-R GND	
5	OUT MINI2-R GND	
18	OUT MINI2-L+	
6	OUT MINI2-L GND	
19	OUT MINI2-L GND	
7	OUT MINI1-R+	
20	OUT MINI1-R GND	
8	OUT MINI1-R GND	
21	OUT MINI1-L+	
9	OUT MINI1-L GND	
22	OUT MINI1-L GND	
10	OUT MON-R+	
23	OUT MON-R GND	
11	OUT MON-R GND	
24	OUT MON-L+	
12	OUT MON-L GND	
25	OUT MON-L GND	
13		

"EXT REMOTE"　　**！！音声コネクターの誤接続注意！！**

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	0V/GND IN/OUT_COMMON	
14	+5V_OUT_for_LAMP	max100mA
2	Y-TB_SW_IN	外部トークバックスイッチを接続。0Vコモン
15	Y-LIS_SW_IN/OUT	オープンコレクタ出力、ロジック入力兼用端子(*1)
3	Y-SLS_CUT_IN	
16	Y-MON_CUT_IN	
4	Y-MON_DIM_IN	
17	B-SURR.1_OUT(@SURR.)	
5	T-MONO_SW_OUT(@SURR.)	
18	Y-MONO_LAMP_IN(@SURR.)	
6	T-MINI2_SW_OUT(@SURR.)	
19	Y-MINI2_LAMP_IN(@SURR.)	
7	B-SURR.2_OUT(@SURR.)	
20	IN_RESERVED0	
8	M-USER_SW1_OUT (*1)	
21	Y-USER_SW1_IN	
9	M-USER_SW2_OUT (*1)	
22	Y-USER_SW2_IN	
10	M-USER_SW3_OUT (*1)	
23	Y-USER_SW3_IN	
11	M-USER_SW4_OUT (*1)	
24	Y-USER_SW4_IN	
12	+15V_OUT	max70mA
25	-15V_OUT	max-70mA
13	0V/GND	

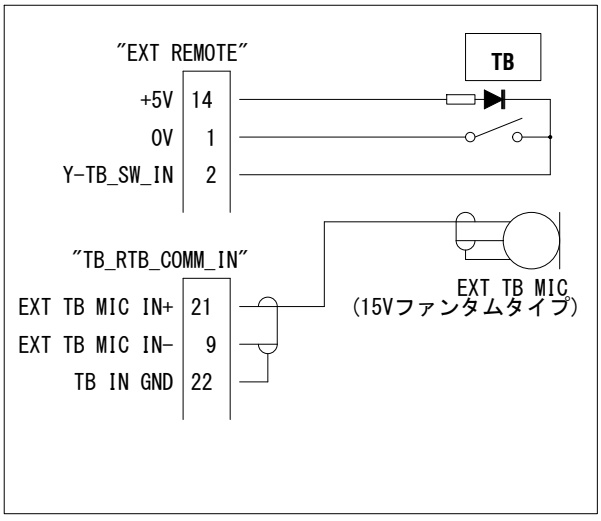
(@SURR.)は、SURR.MONITORモード時にのみ動作。この端子はSTEREOモード時はT-出力は出ません。この端子はSTEREOモード時はY-入力がある場合もタリー表示はされません。

Description表記中の接頭記号の説明
Y-:status/タリー入力(0V/GNDコモン)
T-:モーメンタリ出力(SW_NO接点 0V/GNDコモン)
B-:status出力(オープンコレクタ0V/GNDコモン)
M-:モーメンタリ/オルタネート設定可能(*2)出力(SW_NO接点 0V/GNDコモン)

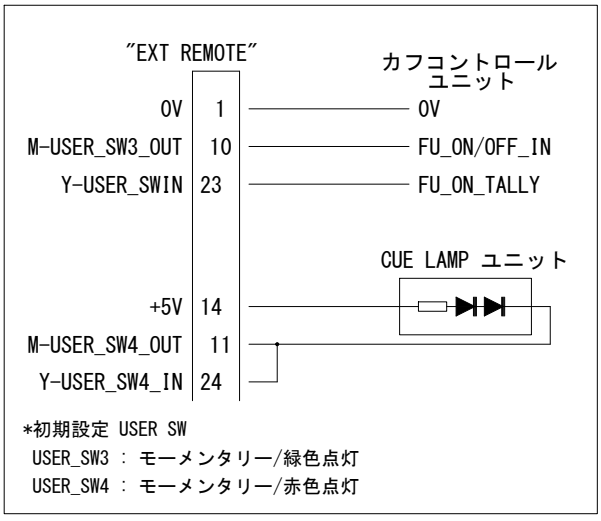
*各入出力はすべて0V/GNDコモン。
*Pin14"+5V_OUT"から取り出せる電流は"OPTION_REMOTE"の"+5V_OUT"と合わせて最大100mA。
*Pin12"+15V_OUT"/Pin25"-15V_OUT"から取り出せる(取り入れる)電流はそれぞれ最大70mA。
*Y-***入力 ON動作条件は1V以下(0V時電流2mA)。OFF時最大電圧定格30V。マイナス電圧接続禁止。アナログ電圧接続禁止。
*M-/T-出力 接点定格は最大50mA、OFF時最大電圧定格30V。マイナス電圧接続禁止。
(*1):コントローラーでLIS_SWをONにした場合にオープンコレクタ出力がONになります。外部に接続された接点が0V/GNDと接続された場合にLISTEN_MIC(RTB)機能が動作します。同時に動作させた場合はコントローラー側機能が優先。
(*2):USER_SW*は初期設定操作によりM-OUTをオルタネート(ロックタイプ)接点出力に変更することができます(出荷時はすべてモーメンタリ)。
* USER_SW*は初期設定操作によりY-IN入力で点灯するLED色を赤/緑/黄のどれか一つに再設定できます(出荷時はすべて黄色)。
* USER_SW*を自照式SWとして使用する場合はM-OUTとY-INを接続(ショート)して1つの端子として使用してください。

！！音声コネクターの誤接続注意！！　短時間でも故障に至ります。

*外部トークバックリモートスイッチ配線例



*USER SW使用 カフコントロール配線例



*初期設定 USER SW
USER_SW3 : モーメンタリー/緑色点灯
USER_SW4 : モーメンタリー/赤色点灯

"OPTION REMOTE"　　！！音声コネクターの誤接続注意！！

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	0V/GND IN/OUT_COMMON	
14	+5V_OUT_for_LAMP	max合計100mA
2	B-RES0 (未使用)	
15	B-RES1 (未使用)	
3	B-RES2 (未使用)	
16	B-RES3 (SUR SRC EXPで使用)	
4	M-USER_SW5_OUT (*2)	
17	Y-USER_SW5_IN	
5	M-USER_SW6_OUT (*2)	
18	Y-USER_SW6_IN	
6	M-USER_SW7_OUT (*2)	
19	Y-USER_SW7_IN	
7	M-USER_SW8_OUT (*2)	
20	Y-USER_SW8_IN	
8	---	
21	---	
9	---	
22	---	
10	DNMIX DIR.OUT_R+	
23	DNMIX DIR.OUT_R-	
11	DNMIX DIR.OUT_R GND	
24	DNMIX DIR.OUT_L+	
12	DNMIX DIR.OUT_L-	
25	DNMIX DIR.OUT_L GND	
13	---	

Description表記中の接頭記号の説明
Y-:status/タリー入力(0V/GNDコモン)
T-:モーメンタリ出力(SW_NO接点 0V/GNDコモン)
B-:status出力(オープンコレクタ0V/GNDコモン)
M-:モーメンタリ/オルタネート設定可能(*2)出力(SW_NO接点 0V/GNDコモン)

USER SW5-8は、外部オプション SUR SRC EXPANDERを使用する場合、
SUR SRC 選択SWとして割当て占有されます。

*SUR SRCとDNMIX No.で選択されたダウンミックス信号が
モニターモードと関係なく常時出力されています。

*各入出力はすべて0V/GNDコモン。
*Pin14"+5V_OUT"から取り出せる電流は"OPTION_REMOTE"の"+5V_OUT"と合わせて最大100mA。
*Y-***入力 ON動作条件は1V以下(0V時電流2mA)。OFF時最大電圧定格30V。マイナス電圧接続禁止。アナログ電圧接続禁止。
*M-/T-出力 接点定格は最大50mA、OFF時最大電圧定格30V。マイナス電圧接続禁止。
(*2):USER_SW*は初期設定操作によりM-OUTをオルタネート(ロックタイプ)接点出力に変更することができます(出荷時は
すべてモーメンタリ)。
* SUR SRC EXPANDER 使用の場合は、Y-USER SW5-8_OUT は内部使用で占有されユーザーでの利用はできません。
* USER_SW*は初期設定操作によりY-IN入力で点灯するLED色を赤/緑/黄のどれか一つに再設定できます(出荷時はすべて黄色)。
* USER_SW*を自照式SWとして使用する場合はM-OUTとY-INを接続(ショート)して1つの端子として使用してください。
* SUR SRC EXPANDER 使用の場合は、Y-USER SW5-8_IN は未使用ピンになります。

！！音声コネクターの誤接続注意！！　短時間でも故障に至ります。

"SW BOX"

D9F with #4-40 inch screw post

Pin No.	Description	Note
1	5V	
6	0V/GND	0V/GND_COMMON
2	DATA-	
7	DATA+	
3	LOCAL_TB_MIC+	
8	LOCAL_TB_MIC-	
4	GND	
9	+15V	
5	-15V	

外部使用禁止

*744CCR2リモートスイッチボックスケーブル標準長さ15m。
延長が必要な場合は5VとOV/GNDの電圧降下が問題となります。 5VとOV/GNDの導体断面積を大きくすることにより、
50m程度まで伸ばすことができます。環境の影響等、考慮すべき技術的な条件がありますので、詳しくは当社に
お問い合わせください。

"PROC_SEND_1-8"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	PROC_SEND_BR+	S1,S2ディフューズ出力生成、ディレイ EQ補正用プロセッサ用Ins.出力
14	PROC_SEND_BR-	
2	PROC_SEND_BR GND	
15	PROC_SEND_BL+	
3	PROC_SEND_BL-	
16	PROC_SEND_BL GND	
4	PROC_SEND_Rs+	
17	PROC_SEND_Rs-	
5	PROC_SEND_Rs GND	
18	PROC_SEND_Ls+	
6	PROC_SEND_Ls-	
19	PROC_SEND_Ls GND	
7	PROC_SEND_LFE+	
20	PROC_SEND_LFE-	
8	PROC_SEND_LFE GND	
21	PROC_SEND_C+	
9	PROC_SEND_C-	
22	PROC_SEND_C GND	
10	PROC_SEND_R+	
23	PROC_SEND_R-	
11	PROC_SEND_R GND	
24	PROC_SEND_L+	
12	PROC_SEND_L-	
25	PROC_SEND_L GND	
13		

"SURR._METER_OUT"

D25M with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR._METER_OUT_BR+	"SURR_METER_OUT"は"PROC_SEND_1-8"とすべての信号が直接接続されている(パラ接続)、同一の音声です。(*4)
14	SURR._METER_OUT_BR-	
2	SURR._METER_OUT_BR GND	
15	SURR._METER_OUT_BL+	
3	SURR._METER_OUT_BL-	
16	SURR._METER_OUT_BL GND	
4	SURR._METER_OUT_Rs+	
17	SURR._METER_OUT_Rs-	
5	SURR._METER_OUT_Rs GND	
18	SURR._METER_OUT_Ls+	
6	SURR._METER_OUT_Ls-	
19	SURR._METER_OUT_Ls GND	
7	SURR._METER_OUT_LFE+	
20	SURR._METER_OUT_LFE-	
8	SURR._METER_OUT_LFE GND	
21	SURR._METER_OUT_C+	
9	SURR._METER_OUT_C-	
22	SURR._METER_OUT_C GND	
10	SURR._METER_OUT_R+	
23	SURR._METER_OUT_R-	
11	SURR._METER_OUT_R GND	
24	SURR._METER_OUT_L+	
12	SURR._METER_OUT_L-	
25	SURR._METER_OUT_L GND	
13		

(*4):本製品のほとんどの機能が744CCU1の上位互換となっていますが、この機能は744CCU1と一部が異なり、部分互換です。

"SURR._PGM_IN"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR._PGM_IN_BR+	
14	SURR._PGM_IN_BR-	
2	SURR._PGM_IN_BR GND	
15	SURR._PGM_IN_BL+	
3	SURR._PGM_IN_BL-	
16	SURR._PGM_IN_BL GND	
4	SURR._PGM_IN_Rs+	
17	SURR._PGM_IN_Rs-	
5	SURR._PGM_IN_Rs GND	
18	SURR._PGM_IN_Ls+	
6	SURR._PGM_IN_Ls-	
19	SURR._PGM_IN_Ls GND	
7	SURR._PGM_IN_LFE+	
20	SURR._PGM_IN_LFE-	
8	SURR._PGM_IN_LFE GND	
21	SURR._PGM_IN_C+	
9	SURR._PGM_IN_C-	
22	SURR._PGM_IN_C GND	
10	SURR._PGM_IN_R+	
23	SURR._PGM_IN_R-	
11	SURR._PGM_IN_R GND	
24	SURR._PGM_IN_L+	
12	SURR._PGM_IN_L-	
25	SURR._PGM_IN_L GND	
13		

"SURR.1_IN"

D25M with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR.1_IN_BR+	
14	SURR.1_IN_BR-	
2	SURR.1_IN_BR GND	
15	SURR.1_IN_BL+	
3	SURR.1_IN_BL-	
16	SURR.1_IN_BL GND	
4	SURR.1_IN_Rs+	
17	SURR.1_IN_Rs-	
5	SURR.1_IN_Rs GND	
18	SURR.1_IN_Ls+	
6	SURR.1_IN_Ls-	
19	SURR.1_IN_Ls GND	
7	SURR.1_IN_LFE+	
20	SURR.1_IN_LFE-	
8	SURR.1_IN_LFE GND	
21	SURR.1_IN_C+	
9	SURR.1_IN_C-	
22	SURR.1_IN_C GND	
10	SURR.1_IN_R+	
23	SURR.1_IN_R-	
11	SURR.1_IN_R GND	
24	SURR.1_IN_L+	
12	SURR.1_IN_L-	
25	SURR.1_IN_L GND	
13		

"SURR.2_IN"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR.2_IN_BR+	
14	SURR.2_IN_BR-	
2	SURR.2_IN_BR GND	
15	SURR.2_IN_BL+	
3	SURR.2_IN_BL-	
16	SURR.2_IN_BL GND	
4	SURR.2_IN_Rs+	
17	SURR.2_IN_Rs-	
5	SURR.2_IN_Rs GND	
18	SURR.2_IN_Ls+	
6	SURR.2_IN_Ls-	
19	SURR.2_IN_Ls GND	
7	SURR.2_IN_LFE+	
20	SURR.2_IN_LFE-	
8	SURR.2_IN_LFE GND	
21	SURR.2_IN_C+	
9	SURR.2_IN_C-	
22	SURR.2_IN_C GND	
10	SURR.2_IN_R+	
23	SURR.2_IN_R-	
11	SURR.2_IN_R GND	
24	SURR.2_IN_L+	
12	SURR.2_IN_L-	
25	SURR.2_IN_L GND	
13		

"PROC_RTN_1-8"

D25M with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	PROC_RTN_BR+	
14	PROC_RTN_BR-	
2	PROC_RTN_BR GND	
15	PROC_RTN_BL+	
3	PROC_RTN_BL-	
16	PROC_RTN_BL GND	
4	PROC_RTN_Rs+	
17	PROC_RTN_Rs-	
5	PROC_RTN_Rs GND	
18	PROC_RTN_Ls+	
6	PROC_RTN_Ls-	
19	PROC_RTN_Ls GND	
7	PROC_RTN_LFE+	
20	PROC_RTN_LFE-	
8	PROC_RTN_LFE GND	
21	PROC_RTN_C+	
9	PROC_RTN_C-	
22	PROC_RTN_C GND	
10	PROC_RTN_R+	
23	PROC_RTN_R-	
11	PROC_RTN_R GND	
24	PROC_RTN_L+	
12	PROC_RTN_L-	
25	PROC_RTN_L GND	
13		

S1,S2、ディレイEQ補正用プロセッサ用Ins.入力
(*内部ジャンパーによりPROC_INSをバイパス可。この場合Ls,RsがMONITORのLs1,Rs1に、BL,BRがMONITORのLs2,Rs2出力にそれぞれ出力)

"SURR._9,10_I/O"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR._MON2_OUT_BR+	SURR. MON1,2 BL/BR 出力 (*744CCR2のMONITOR CUT SW "BL/BR"はこの出力が CUTされます)
14	SURR._MON2_OUT_BR GND	
2	SURR._MON2_OUT_BR GND	
15	SURR._MON2_OUT_BL+	
3	SURR._MON2_OUT_BL GND	
16	SURR._MON2_OUT_BL GND	
4	SURR._MON1_OUT_BR+	
17	SURR._MON1_OUT_BR GND	
5	SURR._MON1_OUT_BR GND	
18	SURR._MON1_OUT_BL+	
6	SURR._MON1_OUT_BL GND	
19	SURR._MON1_OUT_BL GND	
7	SLS_INDEP_IN_R+	SLS 独立音声入力 CUE(ヘッドフォン音声)とSLSに別な入力音声が必要な場合に使用します。
20	SLS_INDEP_IN_R-	
8	SLS_INDEP_IN_R GND	
21	SLS_INDEP_IN_L+	
9	SLS_INDEP_IN_L-	
22	SLS_INDEP_IN_L GND	
10	PROC_RTN_BR+	BL,BR、ディレイEQ補正用プロセッサ用 Ins.入力
23	PROC_RTN_BR-	
11	PROC_RTN_BR GND	
24	PROC_RTN_BL+	
12	PROC_RTN_BL-	
25	PROC_RTN_BL GND	
13		

"SURR._MON1_OUT_1-8"

D25M with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR._MON1_OUT_Rs2+	*SURR INS I/O ジャンパーが接続されている場合(出荷時状態)、SURR.SOURCEのBL,BRがSURR.MOM出力のLs2,Rs2に出力されます(MONITOR CUT SW はLs2,Rs2が割当てられます)。音声設備の設計で、SURR INS 部分の配線を、サラウンドスピーカーが適正な配列となるように考慮してください。
14	SURR._MON1_OUT_Rs2 GND	
2	SURR._MON1_OUT_Rs2 GND	
15	SURR._MON1_OUT_Ls2+	
3	SURR._MON1_OUT_Ls2 GND	
16	SURR._MON1_OUT_Ls2 GND	
4	SURR._MON1_OUT_Rs1+	すべて アンバランス出力
17	SURR._MON1_OUT_Rs1 GND	
5	SURR._MON1_OUT_Rs1 GND	
18	SURR._MON1_OUT_Ls1+	
6	SURR._MON1_OUT_Ls1 GND	
19	SURR._MON1_OUT_Ls1 GND	
7	SURR._MON1_OUT_LFE+	
20	SURR._MON1_OUT_LFE GND	
8	SURR._MON1_OUT_LFE GND	
21	SURR._MON1_OUT_C+	
9	SURR._MON1_OUT_C GND	
22	SURR._MON1_OUT_C GND	
10	SURR._MON1_OUT_R+	
23	SURR._MON1_OUT_R GND	
11	SURR._MON1_OUT_R GND	
24	SURR._MON1_OUT_L+	
12	SURR._MON1_OUT_L GND	
25	SURR._MON1_OUT_L GND	
13		

"SURR._MON2_OUT_1-8"

D25F with #4-40 inch screw post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	SURR._MON2_OUT_Rs2+	*SURR INS I/O ジャンパーが接続されている場合(出荷時状態)、SURR.SOURCEのBL,BRがSURR.MOM出力のLs2,Rs2に出力されます(MONITOR CUT SW はLs2,Rs2が割当てられます)。音声設備の設計で、SURR INS 部分の配線を、サラウンドスピーカーが適正な配列となるように考慮してください。
14	SURR._MON2_OUT_Rs2 GND	
2	SURR._MON2_OUT_Rs2 GND	
15	SURR._MON2_OUT_Ls2+	
3	SURR._MON2_OUT_Ls2 GND	
16	SURR._MON2_OUT_Ls2 GND	
4	SURR._MON2_OUT_Rs1+	すべて アンバランス出力
17	SURR._MON2_OUT_Rs1 GND	
5	SURR._MON2_OUT_Rs1 GND	
18	SURR._MON2_OUT_Ls1+	
6	SURR._MON2_OUT_Ls1 GND	
19	SURR._MON2_OUT_Ls1 GND	
7	SURR._MON2_OUT_LFE+	
20	SURR._MON2_OUT_LFE GND	
8	SURR._MON2_OUT_LFE GND	
21	SURR._MON2_OUT_C+	
9	SURR._MON2_OUT_C GND	
22	SURR._MON2_OUT_C GND	
10	SURR._MON2_OUT_R+	
23	SURR._MON2_OUT_R GND	
11	SURR._MON2_OUT_R GND	
24	SURR._MON2_OUT_L+	
12	SURR._MON2_OUT_L GND	
25	SURR._MON2_OUT_L GND	
13		

品質保証規定

(株)スタジオイクイプメントは、当社及び当社の正規販売代理店から購入されたスタジオイクイプメント製品の品質を、購入の日より1年間保証します。保障修理品の送付方法については販売店にご確認ください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により、当社に直接、保障修理依頼を行う場合は、下記修理品受付連絡先宛てに先ず電話にてご連絡いただき、故障症状をお書き添えの上、修理品と、購入日を示す納品書またはレシート等のコピーを、下記修理品受付連絡先宛てにご送付ください。(いずれの場合も、保障修理を依頼する場合は、購入日を示す納品書またはレシート等のコピーが必要になりますので、購入日を示す納品書またはレシート等を保管しておいてください。)

*故障品を送る場合の送料は、原則、お客様の負担となります。

この品質保証規定は、以下の項目のうちのいずれかに該当する場合、無効となります。

1:本製品を改造(当社により行われた改造を除く)、取扱い説明書に記載されていない分解、誤った使用(誤配線による故障も含まれます)、乱暴な取り扱いを行った場合。

2:当社及び当社の正規販売代理店以外から購入された場合。

3:中古品を購入した場合。

*消耗部品、摩耗部分については、補償の対象外です。

この品質保証規定は、本製品のみを保証するものであり、本製品の使用によって生じたいかなる損害も補償するものではありません。

修理品の取り扱いについて

修理品の送付方法については販売店にご確認ください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により、当社に直接、修理依頼を行う場合は、下記修理品受付連絡先宛てに先ず電話にてご連絡いただき、故障症状をお書き添えの上、下記修理品受付連絡先宛てにご送付ください。

*故障品を送る場合の送料は、原則、お客様の負担となります。

*修理代替品については、原則ご用意していませんが、デモ品等を充当できる場合もありますので、販売店にお問い合わせください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により、当社に直接、修理依頼を行う場合の修理代替品のお問い合わせについては、下記修理品受付連絡先に電話にてご確認ください。修理代替品の送料は、お客様の負担となります。

*修理品送付後、修理実行前に修理暫定見積もりを希望される場合、実際に修理を行う場合は、修理費用と送料をご負担頂き、修理暫定見積もりは無料となりますが、未修理返却の場合は、修理暫定見積もりは有償となります。この場合は修理暫定見積もり料金と送料(代替品送付の場合は加えて代替品送料および送付手数料)をご負担願います。

修理品受付連絡先

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10
株式会社スタジオイクイプメント 製品修理受付担当
TEL:03-3795-3111 / FAX:03-3795-3353

STUDIO EQUIPMENT

(株)スタジオイクイプメント
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10
TEL:03-3795-3111 FAX:03-3795-3353
http://www.studioequipment.co.jp